

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の促進
------	-------------------------

研究テーマ	臺灣と日本の校歌の歌詞と和声進行の分析				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部・講師	氏名	山本 学
	研究分担者	所属・職名	軸英科技大學應用外語系	氏名	郭 育志
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	短期大学部・講師	氏名	山本 学

講演題目	臺灣と日本の校歌の歌詞と楽曲の要素分析－臺灣高雄市立國民小學の校歌の分析－
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>台湾と日本の両国において、小学校、中学校校歌が存在している。</p> <p>日本において校歌は規定される制度上のものがなく、各学校の裁量によっておかれているため、現実には校歌がない学校も存在している。最初の校歌については、須田（2020）によれば、2つの説があり、東京女子師範学校の校歌であるものとする説と、東京市下谷区忍岡尋常高等小学校の校歌であるとする説である。校歌について、静岡市の小学校では、入学式、卒業式、全校集会などで歌われていることがわかり、音楽の授業で特に4月に扱われているケースが半数以上見られた。</p> <p>校歌の研究としては、野上（1997）が歌詞の単語をカテゴリー分類し、その頻度を分類したものがあり、結果として「元気」が最も使用されている単語であることなどがわかっている。また、柚山（2023）のように、愛媛県の校歌を収集し、その歌詞と地理的環境要素を分析したものもある。しかしながら、日本国外に視点を向けた校歌の研究は日本において極めて少ない。そこで、校歌が存在している台湾と日本の校歌を収集し、その歌詞と楽曲分析をすることで二国間の校歌を分析することを本研究の目的とする。</p> <p>研究方法として研究対象を高雄市立國民小學のうち校歌を公開している20校とし、静岡市の小学校のうち校歌を公開している20校と比較し、その歌詞と使われている傾向を調査した。</p> <p>結果として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その土地の花鳥風月が校歌の冒頭に表れる：「壽山翠映鹽校色輝煌」、「鼓山蒼蒼 運河泱泱 錦繡燦爛」のように高雄市では13/20曲、静岡市では18/20曲となった。 ・終盤（曲の最後の1/4部分）校名が表れる：「我鹽埕國民小學」、「造福人群，我鼎金」のように終盤に校名が表れたのは高雄市では7/20曲、静岡市では9/20曲となった。 ・「老師」、「良師」が表れる：「先生」に該当する言葉は高雄市では9/20曲に見られたが、静岡市では0/20曲であった。しかし、静岡市でも「学（ぶ、び）」は14/20曲見られた。 ・「國」にカテゴライズされる言葉が表れる：「（國家）棟樑」が5/20曲、「軍」が5/20曲、「建國」4/20曲など、静岡市の校歌には見られない言葉が表れる。 ・ハ長調、高雄市11/20、ト長調、高雄市4/20、変ロ長調、高雄市2/20曲（静岡市は曲を公開している学校が極めて少ないため対象外）となり、筆者の主観において日本の校歌との差は表れなかった。 ・4/4拍子が高雄市で18/20曲であった。こちらも日本の校歌との差はほぼないと考えられる。 ・部分的にヨナ抜き音階となる曲が15/20曲高雄市で見られた。日本の校歌においても時折見られる。